

12. 土砂災害防止に関する様々な取り組み

■土砂災害・全国防災訓練

情報伝達手段の確認、土砂災害警戒情報の活用、避難勧告の発令及び災害時要援護者を含めた避難訓練を行い、避難場所・避難経路の確認等による警戒避難体制の強化を図ることを目的に、「土砂災害・全国防災訓練」を2006年度(平成18年度)から毎年実施しています。

(2021年(令和3年))

情報伝達訓練：42市町村実施

実動避難訓練：2市町村実施

参加者数：約 2,400人



【長島町】要配慮者利用施設避難訓練の様子(R1)



【垂水市】住民参加による避難訓練の様子(R1)

■鹿児島県土砂災害対策アドバイザー制度

災害発生時の初動体制を速やかに立ち上げ、二次被害の防止や最小化を図るため、2007年(平成19年)6月から高度な技術的知見を有する学識経験者を「土砂災害対策アドバイザー」に委嘱しています。災害時には、必要に応じて現地調査を速やかに実施し、土砂災害発生メカニズムの解明、応急対策等について技術的指導・助言をいただいています。

鹿児島県土砂災害対策アドバイザー【令和3年度】

下川 悦郎	(鹿児島大学名誉教授)
北村 良介	(鹿児島大学名誉教授)
地頭 隆	(鹿児島大学農学系教授)
井村 隆介	(鹿児島大学共通教育センター准教授)
酒匂 一成	(鹿児島大学学術研究院理工学域工学系准教授)
水野 秀明	(九州大学農学研究員准教授)



鹿児島市古里地区
現地調査実施状況 (H30.7.8)

■下川鹿児島大学名誉教授 2017年(平成29年)防災功労者内閣総理大臣表彰受賞

本県の土砂災害対策アドバイザーの下川悦郎鹿児島大学名誉教授が、火山における侵食・土石流発生メカニズムに関する研究活動や、国や県等砂防行政への有用な提言など、土砂災害防止活動等に著しい功績があったとして、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞されました。



内閣総理大臣より表彰を受ける下川名誉教授
(H29.9.8)

■NPO法人鹿児島砂防ボランティア協会との大規模土砂災害時の技術支援協定締結

大規模土砂災害が発生して被災箇所が相当数にのぼるような場合に、砂防ボランティア協会による被災状況調査の実施や技術的助言などの技術支援協力を得て、災害復旧関係業務を迅速かつ円滑に実施することを目指します。



大規模土砂災害時における技術支援に関する協定調印式 (H23.1.26)

